

【報道関係者各位】

2026 年 10 月 21 日

「イマーシブミュージアム高知」開幕！

高知出身・鶴嶋乃愛さんが公式アンバサダーに就任 ポスト印象派の世界へ“没入”する

体感型アートミュージアム

2026 年 10 月 17 日（土）よりイオンモール高知で開催中 12 月 6 日（日）まで

体感型デジタルアートミュージアム「イマーシブミュージアム高知」が、2026 年 10 月 17 日（土）、イオンモール高知 イオンホールにて開幕しました。本展の公式アンバサダーには、高知県出身の俳優・モデル 鶴嶋乃愛さんが就任。12 月 6 日（日）まで開催します。

本展は、「鑑賞する絵画から、体感する絵画へ。」をコンセプトに、ポスト印象派を代表する画家たちの名画の世界へ入り込む、新しいアート体験を提供します。

大型スクリーンに映し出される圧倒的な映像と音響演出により、来場者はまるで絵画の中を歩いているかのような感覚を味わうことができます。ゴッホが見た渦巻く夜空、スーラが捉えた光の粒子、ゴーガンの鮮やかな色彩世界、セザンヌの革新的な視点など、19 世紀末に誕生した芸術表現の数々を全身で体感していただきます。

中四国初開催となる本展は、「よさこい高知文化祭 2026」の開催にあわせて実施され、芸術文化に親しむ機会の創出と、新たな文化体験の提供を目指します。

鶴嶋乃愛さんが公式アンバサダーに就任

本展の公式アンバサダーには、高知県出身の俳優・モデル 鶴嶋乃愛さんが就任しました。開幕前日のメディア発表会では、公式アンバサダーとして紹介され、会場で本展の没入体験を楽しみました。鶴嶋さんには、地元・高知で開催される本展の魅力を広く発信していただきます。

10 月 17 日（土）開幕。高知ならではのオリジナルコンテンツも

本展は 10 月 17 日（土）に開幕しました。360 度を埋め尽くす映像と特別な音響によるポスト印象派の世界に加え、高知オリジナルコンテンツとして、北川村「モネの庭」マルモッタン、絵師・金蔵（絵金）の芝居絵屏風とのコラボレーションも展開。高知ならではの文化の幅広さと奥行きを、没入空間で体感いただけます。

ポスト印象派とは

1886 年、最後の印象派展が開かれた時代に登場した画家たちは、印象派の表現をさらに発展させ、それぞれ独自の芸術世界を築きました。

本展では、フィンセント・ファン・ゴッホ、ポール・セザンヌ、ポール・ゴーガン、ジョルジュ・スーラらの作品を中心に構成。彼らが生み出した革新的な表現を、最新の映像技術によって再解釈し、新たなアート体験として展開します。

開催概要

【名称】

イマーシブミュージアム高知

【会期】

2026 年 10 月 17 日（土）～12 月 6 日（日）

【開館時間】

10:00～18:00（最終入場 17:30）

【会場】

イオンモール高知 イオンホール
（高知県高知市秦南町 1 丁目 4-8）

【主催】

文化庁、厚生労働省、高知県、よさこい高知文化祭 2026 高知県実行委員会

【企画制作】

イマーシブミュージアム高知実行委員会

【チケット料金（税込）】

日時指定券：大人 平日 1,100 円／土日祝 1,300 円、高校生以下 平日 700 円／土日祝 900 円、未就学児無料。

当日券：大人 平日 1,300 円／土日祝 1,500 円、高校生以下 平日 800 円／土日祝 1,000 円、未就学児無料。

※日時指定券はイープラスで販売中です。当日券は日時指定券の販売枚数に余裕がある場合のみ会場販売します。最新情報は公式サイトをご確認ください。

公式サイト：<https://immersive-museum-kochi.jp/>

本件に関するお問い合わせ

Immersive Museum Kochi 問い合わせ事務局（高知新聞社内）

TEL：088-825-4031

以上